(変更4回) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年1月29日
契約業者名	東亜建設工業株式会社 中国支店
契約業者の住所	広島市中区立町2番23号
工事の名称	徳山下松港下松地区栈橋(-19m)築造工事
工事場所	山口県下松市東海岸通り地先
工事種別	港湾土木工事
工事概要 (変更した内容)	別添工事数量総括表のとおり
工期(自)	令和6年3月13日
工期(至)	令和7年3月19日
変更前の契約金額 (税込)	¥784,079,999
変更金額(税込)	¥5,940,000
変更後の契約金額 (税込)	¥790,019,999
変更理由	別添変更理由書のとおり

工事数量総括表

工 事 名	徳山下松港下松地区棧橋(-19m)築造工事 (変更4回)						事業区分	港湾整備		
							工事区分	棧橋(-19m)棧橋部		
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要				
現場鋼材切断工 吊金具切断	ガス切断,t=16	本 m	}	}	}	樹脂カプセル M20	樹脂カプセル M12			
支承工 支承設置	棧橋側 固定	式				}	}	}	自動・半自動	現場発生品運搬一式
あと施工アンカー	ドルフィン側 可動	式 本							鉛直支承2基、水平支承1基 可動支承2基 削孔Φ50、L=220 無収縮モルタル、V=0.04m3	
橋梁現場塗装工 現場塗装工 重防食塗装	鋼製架台塗装 現場添接部 渡橋塗装 現場添接部	m2 m2				原契約のとおり			超厚膜エポキシ樹脂	超厚膜エポキシ樹脂
付属工 係船柱工 係船柱 中詰めコンクリート	係船曲柱 (1500kN型) 18-8-40BB	基 m3				}			架台・係船柱塗装含む	
防舷材工 梯子取付	200H×1800L	基				}			樹脂カプセル M24 8箇所	
縁金物工 縁金物	アルミ製	m				}				
落橋防止装置工 落橋防止装置設置 落橋防止装置設置	棧橋側 ドルフィン側	基 基				}				
防護柵設置工 防護柵設置	コンクリート架台 跨橋部上部	m m				}			無収縮モルタル、V=0.01m3	

工事数量総括表

工 事 名	徳山下松港下松地区棧橋(-19m)築造工事 (変更4回)						事業区分	港湾整備
							工事区分	棧橋(-19m)棧橋部
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要		
防食工								
電気防食	アルミニウム合金陽極 3.5A×50年型	個	}	原契約のとおり			電位測定装置含む	
被覆防食	ペトロラタム被覆	m2						
舗装工							足場 135m2 端部処理 60m	
アスファルト舗装工								
表層(5cm)	再生密粒度アスファルト改質Ⅱ型(20)	m2	19	0	▲ 19			
基層(5cm)	再生粗粒度アスファルト改質Ⅱ型(20)	m2	17	0	▲ 17			
シート系防水層		式	1	0	▲ 1			
コンクリート舗装工								
コンクリート舗装(A2工区)	18-8-20BB t=10cm	m2	0	20	20		目地、溶接金網	
コンクリート舗装(屈曲部②)	曲げ4.5-6.5-20BB t=17.6cm (平均)	m2	0	278	278		目地、溶接金網	
コンクリート舗装(渡橋部②)	曲げ4.5-6.5-20BB t=16.5cm (平均)	m2	0	158	158		目地、溶接金網	
照明設備工								
照明設備設置工								
照明灯建柱	IA10B-C	基台	8	8	0		樹脂系アンカーボルト M24×275L含む	
照明灯具取付	KCE150-3-J	台	}	原契約のとおり			渡橋部	
自動点滅器設置	6A,200V 支柱取付型	台						
照明灯具取付	10VA	台	}	原契約のとおり			棧橋部、照明架台設置	
照明灯具取付	10VA	台						
スイッチボックス柱設置	SUS Sch10 50A L=1500 取付金具含む	台	5	1	▲ 4		ドルフィン部 削孔Φ12、L=190	
スイッチボックス設置①	SUS W150xH270xD120 取付金具含む	個	}	原契約のとおり			SD295 D10 220L、樹脂カプセル M10含む	
スイッチボックス設置②	SUS W150xH270xD120 取付金具含む	個						
スイッチボックス設置③	SUS W150xH270xD120 取付金具含む	個						
配線・配管工								
配線・配管工								
波付硬質合成樹脂管	FEPφ50	m	9	4	▲ 5		クランプφ50用 N=2個含む	

工事数量総括表

工 事 名		徳山下松港下松地区棧橋(-19m)築造工事 (変更4回)					事業区分	港湾整備	
							工事区分	棧橋(-19m)棧橋部	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要			
厚鋼電線管	FEPφ30	m	9	4	▲ 5	クランプφ30用 N=2個含む			
	G54(SUS)	m	698	679	▲ 19	異種管継手FEPφ50-G54用 N=1個含む			
	G36(SUS)	m	原契約のとおり						
金属製可とう電線管	G28(SUS)	m	334	315	▲ 19	異種管継手FEPφ30-G28用 N=1個含む			
	G22(SUS)	m	原契約のとおり						
	SUS #63	m	59	81	22	防水ユニオンカップリング#63-G54用 N=55個 ボックスコネクター#63用 N=47個含む			
	SUS #38	m	原契約のとおり			防水ユニオンカップリング#38-G36用 N=7個 ボックスコネクター#38用 N=3個含む			
	SUS #30	m	50	73	23	防水ユニオンカップリング#30-G28用 N=50個 ボックスコネクター#30用 N=62個含む			
	SUS #24	m	原契約のとおり			防水ユニオンカップリング#24-G22用 N=6個 ボックスコネクター#24用 N=26個含む			
	配管架台取付	A-1 SUS [-100×50×6 L=350、PL-200×200×12	個	121	122	1	Uボルト SUS M10×50A N=122個、M10×25A N=122個 アンカボルト M10×70L N=488本、削孔φ10.5 L=70 N=488孔含む		
A-2 SUS [-100×50×6 L=200、PL-200×200×12		個	}	}	}	Uボルト SUS M10×50A N=199個 アンカボルト M10×70L N=796本、削孔φ10.5 L=70 N=796孔含む			
A-3 SUS L-75×75×6 L=250、PL-200×200×12		個				Uボルト SUS M10×50A N=8個 アンカボルト M10×70L N=32本、削孔φ10.5 L=70 N=32孔含む			
A-4 SUS [-100×50×6 L=200、PL-200×200×12		個				Uボルト SUS M10×32A N=2個 アンカボルト M10×70L N=8本、削孔φ10.5 L=70 N=8孔含む			
A-5 SUS [-100×50×6 L=200		個				Uボルト SUS M10×40A N=1個 アンカボルト M10×70L N=2本、削孔φ10.5 L=70 N=2孔含む			
A-6 SUS [-100×50×6 L=350		個				Uボルト SUS M10×50A N=15個、M10×25A N=15個 アンカボルト M10×70L N=30本、削孔φ10.5 L=70 N=30孔含む			
A-7 SUS [-100×50×6 L=350、PL-200×400×12		個				Uボルト SUS M10×50A N=27個、M10×25A N=27個 アンカボルト M10×70L N=108本、削孔φ10.5 L=70 N=108孔含む			
B-1 SUS [-100×50×6 L=200		個				Uボルト SUS M10×50A N=3個 アンカボルト M10×70L N=6本、削孔φ10.5 L=70 N=6孔含む			
B-2 SUS [-100×50×6 L=200		個				Uボルト SUS M10×32A N=1個 アンカボルト M10×70L N=2本、削孔φ10.5 L=70 N=2孔含む			

工事数量総括表

工 事 名		徳山下松港下松地区棧橋(-19m)築造工事 (変更4回)					事業区分	港湾整備		
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要			
配管基礎ブロック設置 管内配線	B-3 SUS [-100×50×5 L=200	個	}	原契約のとおり			Uボルト SUS M10×32A N=1個 全周隅肉溶接t=6mm 1m			
	B-4 SUS [-100×50×5 L=250	個					Uボルト SUS M10×32A N=1個 Uボルト SUS M10×25A N=1個 全周隅肉溶接t=6mm 1m			
	B-5 SUS [-50×50×6 L=100、PL-75×100×9	個					SUS 丸形露出ボックス G22用 全周隅肉溶接t=6mm 0.4m			
	C-1 SUS L-50×50×6 L=200	個					Uボルト SUS M10×32A N=24個 全周隅肉溶接t=6mm 5m			
	C-2 SUS L-50×50×6 L=266	個					Uボルト SUS M10×32A N=1個 全周隅肉溶接t=6mm 0.2m			
	C-3 SUS L-50×50×6 L=200	個					Uボルト SUS M10×20A N=5個 全周隅肉溶接t=6mm 1m			
	D-1 SUS [-100×50×6 L=500	個					9	8	▲ 1	Uボルト SUS M10×50A N=24個、SUS M10×25A N=8個
	D-2 SUS [-100×50×6 L=500	個					0	2	2	アンカボルト M10×70L N=16本、削孔φ10.5 L=70 N=16孔含む Uボルト SUS M10×65A N=6個、SUS M10×30A N=2個
	露出配管用ブロック SUS L=600,H=130,A=94	個					0	5	5	アンカボルト M10×70L N=4本、削孔φ10.5 L=70 N=4孔含む 配管支持クリップ SUS G54適合 N=5個、SUS G28適合 N=5個含む
	埋設標識シート	EM-CE2.0sq-2C					m	原契約のとおり		
ハンドホール設置工 ハンドホール設置 基礎砕石	EM-CE5.5sq-3C	m	408	409	1					
	EM-CE3.5sq-3C	m	1313	1315	2					
	EM-CE3.5sq-4C	m	原契約のとおり							
	EM-CE2.0sq-3C	m	35	36	1					
	EM-CE2.0sq-4C	m	8	10	2					
		m	9	2	▲ 7					
		H2-9	基	}	原契約のとおり			鉄蓋N=1枚、ヘルマウスFEPφ50用 N=1個、FEPφ30用 N=1個含む		
	RC-40 t=100	m2								
プルボックス設置工 プルボックス設置	TYPE1 防水型 SUS 500×500×400	個					取付金具 SUS PL-100×50×6 N=24個			

工事数量総括表

工事名		徳山下松港下松地区棧橋(-19m)築造工事(変更4回)					事業区分	港湾整備
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
	TYPE1-2 防水型 SUS 500×500×400	個	原契約のとおり				アンカーボルト M10×70L N=24本、削孔φ10.5 L=70 N=24孔含む 取付金具 SUS PL-100×50×6 N=8個	
	TYPE2 防水型 SUS 400×400×200	個	55	51	▲ 4	アンカーボルト M10×70L N=8本、削孔φ10.5 L=70 N=8孔含む 取付金具 SUS PL-100×50×6 N=204個		
	TYPE3 防水型 SUS 400×400×200	個	原契約のとおり			アンカーボルト M10×70L N=204本、削孔φ10.5 L=70 N=204孔含む 取付金具 SUS L-50×50×6 L=400 N=8個		
	TYPE5 防水型 SUS 400×400×200	個	原契約のとおり			アンカーボルト M10×70L N=16本、削孔φ10.5 L=70 N=16孔含む 取付金具 SUS L-50×50×6 L=400 N=4個		
	TYPE6 防水型 SUS 300×300×200	個	原契約のとおり			アンカーボルト M10×70L N=8本、削孔φ10.5 L=70 N=8孔含む 取付金具 SUS L-50×50×6 L=300 N=2個 全周隅肉溶接t=6mm 1m		
	TYPE8 防水型 SUS 200×200×100	個	原契約のとおり			取付金具 SUS L-50×50×6 L=280 N=2個 全周隅肉溶接t=6mm 0.4m		
	TYPE9 防水型 SUS 200×200×200	個	原契約のとおり			取付金具 SUS L-50×50×6 L=280 N=4個 全周隅肉溶接t=6mm 1m		
	TYPE10 防水型 SUS 600×600×200	個	原契約のとおり			取付金具 SUS L-50×50×6 L=600 N=2個		
	TYPE11 防水型 SUS 600×600×200	個	原契約のとおり			アンカーボルト M10×70L N=4本、削孔φ10.5 L=70 N=4孔含む 取付金具 SUS L-50×50×6 L=500(600) N=2個		
	TYPE12 防水型 SUS 400×650×200	個	原契約のとおり			アンカーボルト M10×70L N=4本、削孔φ10.5 L=70 N=4孔含む 取付金具 SUS L-50×50×6 L=400 N=1個、L-50×50×6 L=650 N=1個		
	TYPE13 防水型 SUS 400×400×250	個	0	3	3	アンカーボルト M10×70L N=4本、削孔φ10.5 L=70 N=4孔含む 取付金具 SUS PL-100×50×6 N=12個		
	TYPE14 防水型 SUS 400×400×500	個	0	1	1	アンカーボルト M10×70L N=12本、削孔φ10.5 L=70 N=12孔含む 取付金具 SUS PL-100×50×6 N=4個		
	基礎砕石	RC-40 t=50	m2	原契約のとおり			アンカーボルト M10×70L N=4本、削孔φ10.5 L=70 N=4孔含む	
	型枠	小型構造物	m2	原契約のとおり				
コンクリート	18-8-40BB	m3	原契約のとおり					
作業土工								
床掘	土砂	m3	14	8	▲ 6			

工事数量総括表

工 事 名		徳山下松港下松地区棧橋(-19m)築造工事 (変更4回)					事業区分	港湾整備
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
埋戻し・締め	流用土		m3	12	6	▲ 6	水中被覆アーク溶接t=13.5mm 5m 水中酸素アーク切断t=13mm 4m 水中酸素アーク切断t=21mm 8m ガス切断t=9mm 30m 現場発生品運搬一式	
敷砂			m3	0.3	0.1	▲ 0.2		
保護砂			m3	1	0.2	▲ 0.8		
仮設工								
安全対策								
交通誘導警備員			式					
導材設置・撤去工	杭固定治具含む		式					
導材設置・撤去								
直接経費								
機械経費								
作業車賃料	橋梁点検車		式					
共通仮設								
共通仮設費								
回航・えい航費								
えい航	コンクリートミキサ-船 バッチ式1.0m3		式					
えい航	台船 1,000t積		式					
えい航	起重機船 旋回式D200t吊		式			2往復		
えい航	台船 1,000t積		式					
回航	杭打船 全旋回式550t吊起重機兼杭打機		式					
回航	起重機船 固定鋼700t吊		式					
安全費								
安全対策	安全監視船		式			安全管理者を含む		
標識			式					
水雷・傷害等保険料								
水雷保険料			式					

原契約のとおり

工事数量総括表

工 事 名		徳山下松港下松地区棧橋(-19m)築造工事 (変更4回)					事業区分	港湾整備
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	工事区分	棧橋(-19m)棧橋部
							摘	要
傷害保険料			式	}	原契約のとおり			
運搬費			式					
建設機械器具等運搬			式					
技術管理費			式	1	1	1		
技術管理								

変更理由書

- 1, 工 事 名 : 徳山下松港下松地区棧橋(-19m)築造工事
- 2, 工 期 : 令和 6 年 3 月 13 日 ~ 令和 7 年 1 月 31 日
- 3, 請 負 金 額 : 572,000,000 円 (当初)
575,795,741 円 (変更 1 回)
713,129,999 円 (変更 2 回)
784,079,999 円 (変更 3 回)

4, 変 更 理 由 :

本工事は徳山下松港下松地区棧橋 (-19m) の工場製作工、本体工(鋼杭式)、本体工(場所打式)、舗装工、上部工、鋼橋架設工、橋梁現場塗装工、付属工、照明設備工及び仮設工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

1) 共通仮設：施工実態調査工種の変更

モニタリング調査対象工種のうち、ブロック製作工及びブロック据付撤去工について、本工事での調査対象外であることが判明したため、調査工種を変更する。

2) 照明設備工：照明柱アンカーボルトの仕様変更

設計図書照査の結果、照明柱アンカーボルトの仕様を変更する。

3) 照明設備工：スイッチボックス設置方法の変更

港湾管理者と調整の結果、スイッチボックス設置方法を変更する。

4) 配線・配管工：配管数量（土工部・跨橋部・渡橋部）変更

現地確認の結果、土工部・跨橋部及び渡橋部の配線・配管数量を変更する。

5) 配線・配管工：プルボックス形状変更

維持管理の観点から、プルボックスの形状を変更する。

6) 配線・配管工：地中配管からの変更

港湾管理者との調整の結果、土工部の地中配管について、一部露出配管に変更する。

7) 舗装工：アスファルト舗装からの変更

港湾管理者及び利用者へのヒアリングの結果、アスファルト舗装からコンクリート舗装へ変更する。

8) 舗装工：屈曲部②及び渡橋部②における舗装追加

屈曲部②及び渡橋部②において、ベルトコンベア基礎設置工事を行う民間事業者との調整の結果、コンクリート舗装を追加する。

9) 工期の延伸

前工事の荒天による杭打船の配船遅れ及び上記8)の変更に伴い、本工事の工期を令和7年3月19日まで延伸する。